



東大阪消防広報

2019年(平成31年)
No.103

「忘れてない? サイフにスマホに火の確認」(平成30年度全国統一防火標語)

発行所
東大阪市消防局
東大阪市稲葉
1-1-9
TEL072(966)9663
FAX072(966)9669

関係機関との連携強化

事故防止はもちろん、万一事故が発生した場合は、関係機関との連携が欠かせません。警察や自衛隊などの関係機関と合同訓練を行うなど連携強化を図っています。



爆発物によるテロを想定した訓練(左)と自衛隊員から化学物質による汚染の検査を受ける消防職員(上)

特殊災害対応能力強化

国際的なスポーツ大会では、多くの観客が押し寄せたことによる事故のほか、化学物質や爆発物を使ったテロなどにも備える必要があります。さまざまな事態に対応できるように、資機材の整備や訓練を行っています。



外国語による119番通報対応強化

市花園ラグビー場では、世界屈指の強豪国による対戦4試合が予定され、海外からも多くの観客が見込まれます。外国語による119番通報の対応を強化するため、昨年4月から翻訳センターを利用した通報の受信体制を構築しています。



消防指令センター



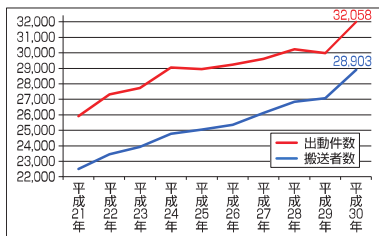
化学物質を使ったテロを想定し、市花園ラグビー場で救出訓練にあたる消防職員(左)と傷病者を搬送する様子(上)

ラグビーワールドカップ2019日本大会

安全で安心できる大会をめざして

今年度は、ラグビーワールドカップ2019日本大会が花園でも開催されます。市消防局では、昨年11月に内閣官庁や消防庁、自衛隊、大阪府警察などとの実動訓練を実施しました。今後、有難事の際の対応を強化し、大会開催期間中の安全確保に全力で取り組みます。

出動件数・搬送者数の推移



救急出動件数過去最多

①適正 ②利用 ③やろうよ!

昨年、救急出動は3万2058件、搬送者は28903人で過去最多を記録しました(グラフ参照)。中には緊急性の低い要請も多く含まれ、本当に緊急を要する方への到着の遅れが懸念されています。

緊急性の低い要請がある反面、救急要請をためらううちに重症化したとみられる事例もあります。緊急の症状を見逃さず、すぐに救急車を呼ぶことも大切な適正利用です。緊急時は迷わず119番してください。

呼ばないだけが適正利用じゃない!

緊急性の低い要請がある反面、救急要請をためらううちに重症化したとみられる事例もあります。緊急の症状を見逃さず、すぐに救急車を呼ぶことも大切な適正利用です。緊急時は迷わず119番してください。

お酒を飲みすぎて気持ち悪い、救急車で行った方が早く診察してもらえと思うなど、これらは本来にあった救急車を呼んだ理由です。救急車は限りある資源です。本当に必要な方が利用できるよう適正利用にご協力ください。

救急車を呼ぶべきか迷ったときは

救急安心センターおおさか



警察備課

救急車を呼ぶべきか迷ったときは、救急安心センターおおさかをご利用ください。病気やケガの緊急性に関する相談や、症状に応じた救急病院の案内を行っています。相談中に緊急性が高いと判断したときは、消防局にすぐに救急車を出動させます。

迷ったときは #7119



緊急出動する救急車

平成30年の火災概況 (速報値)

放火が減少、火災原因のトップは「こんろ」に！

平成30年の火災概況(速報値)がまとまりました(表参照)。火災件数は1344件で、昨年より8件増加しています。

※予防広報課

平成元年から市内での火災原因のトップは「放火(疑いを含む)」でしたが、この数年放火火災は減少傾向にあります。昨年の火災原因は「放火(疑いを含む)」が1位で、2位は「こんろ」です。

また、東消防署管内では、放火火災が0件

原因第1位 **こんろ**

こんろが原因の火災を調べると、こんろの周辺にあった可燃物が燃えたものが多く、油が沸騰したまま放置して、自分発火しているのです。そのためIHクッキングヒーターでも使用法を誤り、油が高くなると発火します。「火を使わないから安全」と通信しないようご注意ください。



IHクッキングヒーターで発火した天ぷら油

平成30年の火災原因トップ3	
1位	こんろ 26件
2位	放火(疑いを含む) 15件
3位	たばこ 18件

原因第2位 **放火(疑いを含む)**

天ぷら油は自ら燃える。鍋に入ってしまった油が沸騰して起きている状態です。油が沸騰したまま放置して、自分発火しているのです。そのためIHクッキングヒーターでも使用法を誤り、油が高くなると発火します。「火を使わないから安全」と通信しないようご注意ください。

前年との比較			
	平成30年	平成29年	
火災件数	1344件	126件	
種別	建物	98件	91件
	車両	15件	13件
	林野	0件	1件
	その他	21件	21件
死者	5人	4人	
負傷者	34人	31人	

※速報値のため変動することがあります。

カセットガス・スプレー 室内での穴あけは禁止！

昨年、市内でカセットガスボンベやスプレー缶の穴あけを室内で行ったため火災になり、3人がやけどを負っています。

カセットガスボンベはもちろん、スプレー缶にも燃えやすいガスが入っています。負傷した方は、いずれの現場でも台所で穴あけを行っていました。こんろや給湯器の火が引火して火災になっています。

【使い切ったら/穴をあけず!/】
カセットガスボンベやスプレー缶を捨てるときは、使い切ってから穴あけせずに「かん・びん」の回収に出してください。



避難時は
プレーカーを
OFFに!!



見えない危険「電気」にも要注意

昨年、電気機器や配線などが原因の火災をあわせて20件ありました。電気は目に見えず、危険性がわかりにくいので要注意です。

家庭内で多いのは、コンセントや電気コード関係からの出火です。次のことに充分注意しましょう。

▶コンセントのほこりは定期的に掃除する

▶コードは束ねたまま使用しない

▶延長コードは、定められたワット数以下で使用する

▶コードを家具などの下敷きしない

▶素人工事は絶対しない

【災害の避難時はプレーカーをOFFに】

地震のとき、停電のため配線や機器などの異常に気づかず避難し、電気が復旧したときに発火する事例があります。避難するときは、必ずプレーカーをOFFにしてください。最近地震の揺れを感じると自動的に電気を止める感震プレーカーも販売されています。

また、水害のときは、配線や機器などが水に浸かると漏電の危険があります。プレーカーをOFFにすることはもちろん、専門家に点検してもらってから復旧しましょう。水没した自動車も電気系統の異常が考えられますので、無理にエンジンをかけようと思わないでください。

原因第3位 **たばこ**

たばこによる火災は、多くが吸殻の不適切な処理で発生しています。吸殻は、水を入れた灰皿で確実に消してください。

また、喫煙しながら移動すると思わぬところに灰が落ちて火事になることもあります。たばこを吸っているときは、周囲の状況に注意してください。

住宅用火災警報器の 定期的な点検を

昨年、市内の火災による死者は5人で、全員住居で発生した火災によるもので、これにより、定期的な点検は、火災の早期発見が重要です。住宅用火災警報器を未設置の方は、すぐに設置しましょう。



忘れず設置・ 定期的に点検・10年で交換

た、警報器も壊れると電池の消耗や部品の劣化が考えられます。定期的な点検は、10年を目安に交換してください。【動作型は電池切れを感知し、音で知らせるタイプ】

1台が感知すると他の部屋の警報器も鳴ります。無線で連動するため、無線で連動するタイプは、配線工事が必要ありません。これからの器、交換する方はぜひ「連動型」を検討してください。

簡単に点検ができます。アラームが鳴れば正常です。



ひもを引く

ボタンを押す

自らの地域は自らが守る！

消防団の活動を紹介

消防団の主な活動(予定)	
1月	消防出初式
3月	春の全国火災予防運動
4月	恩智川水防訓練
5月	大阪府地域防災総合演習
7月	中河内地区支部消防総合訓練
9月	大阪府消防大会・消防操法訓練
11月	秋の全国火災予防運動
12月	歳末火災特別警戒

※このほか、府立消防学校の研修や各地域での訓練などがあります。

地域防災に女性の視点！

現在、市には学生や主婦、働いている方など10人の女性消防団員が在籍しています。特に広報や応急手当の指導などでは、きめ細かく、やさしさと思いやりで満ちた活動が高い評価を得ています。



子どもに応急手当の指導をする女性消防団員

消防団員は、建設された地域の仕事をしながら災害に備え、いざ災害が発生すれば、迅速な対応を求め、市民の安全を守るために活動しています。今年も、ある消防団員の勇気ある行動を紹介しましょう。

昨年10月、第12分団団員の二階堂健一さんは、地元で秋祭りの準備をしていたときに、火災現場に遭遇しました。そのとき、消防団員は、到着してから、建物全体から立ちあがる煙が、噴き出していました。しかし、住民が建物内で助けを求めていたという危険な状況でした。そこで、二階堂さんは、現場に居合わせた市民とともに高層の男性を、トイレの窓から引き出して無傷で救出。消防隊が到着したときには、トイレ周辺も煙に包まれており、また、二階堂さんは、一髪での救出でした。この功績で消防団員として表彰されました。

かみ髪が短く、一階堂さんは、地元の消防活動をしているからと、救出された後、地域のために貢献したいと語っていました。

二階堂健一(左)と二階堂健一(右)

救出活動を行った火災現場

春の全国火災予防運動

忘れてない？ サイフにスマホに 火の確認

3月1日から春の全国火災予防運動が始まります。この時期は、年度の変更や、目で見えなくなると、警戒がゆるみ、火災が拡大しやすい時期が拡大しやすい時期が拡大しやすい時期です。火の使用は、その場を離れない、お出かけ前やおやすみ前には火の元点検を徹底して行うことを忘れず、安全確認をお願いします。

消防団員は、春の火災予防運動にあわせて消防フェスを開催します。ぜひお越しください。

田中消防署
放水体験や火災の事例紹介を行います。

2月23日(土)13時~16時
2月24日(日)13時~16時
※消防団員も参加します。

西消防団
消防トランくん、消防ミニちゃんも登場します。

3月3日(日)10時~16時
消防フェス
東大阪
各消防署

救助の様子を笑顔する消防団員

生駒山のみどりを壊さないで！ 春は山火事に注意

秋から冬の間に落葉や枯草がたまり、空気が乾燥しているところに、ハイキングなどで入山者も多くなることから、山火事は春を告げます。

出火の原因1位は「たばこ」です。

過に市内で発生した山火事の多くは、たばこが原因です。たばこを吸った後は、必ず手でつまみ、灰皿で確実に消してください。

また、山火事は、早期発見と協力を要します。5月6日、特別警戒期間として、パトロールなどを強化しています。もし、山から上がる不審な煙を見つけたときは、迷わずに119番通報をお願いします。

早期発見と協力を要します。5月6日、特別警戒期間として、パトロールなどを強化しています。もし、山から上がる不審な煙を見つけたときは、迷わずに119番通報をお願いします。

生駒山のみどりを壊さないで！

春は山火事に注意

山火事に備えた訓練

準備訓練



事業所の皆さん 消火器の訪問点検 トラブルに注意!



「いつもの業者と思い契約者の確認をしっかりと」
「いつもこの業者と思い契約者の確認をしっかりと」



消防車型トランポリン(左)、被災地体験コーナー(右)

開館時間 9時30分～17時
休館日 月曜日(月曜日が祝休日の場合は翌日休館)、年末年始

約したが、実際は違う業者でできらんと点検されているのか疑わしい」といった相談がよくあります。特に、本社以外の場所にある工場や営業所などは要注意です。点検業者が来たときは、建物の管理責任者に連絡し、自ら依頼した業者なのか確認しましょう。また、自動火災報知設備などほかの設備があるにも関わらず、消火器の点検のみを求めている場合も要注意です。

契約前に費用の確認を請求書を見て驚き、相談

防署
▽予防広報課
▽各消

防災学習センター まさか大阪で「災」に備えるのは今

昨年、大阪府北部を震源とする地震など、私たちの身近なところで大きな災害が発生しました。特に、台風第21号では、市内でも多くの被害が確認されました。「まさか大阪で…」そんな感じがします。

防災学習センターでは、実際に地震などを体験しながら災害への対策や備えを学ぶことができます。必要性はわかるけど、いまいち備え方がわからないという方も、体験することで必要な対応が見えてきます。

家族で学べば、絆も深まる!

団体利用で
共助の精神もUP

防災は、一人ひとりが行う「自助」に加え、「共助」の力も重要です。防災学習センターを自治会や自主防災組織、企業などの団体で利用することで、共助の精神も高まります。



初期消火体験をする子どもたち

平成31年度一般公募救命講習開催日程			
	とき	講習種別	ところ・申込み先
平成31年	4月22日(月) 18時～21時	普通救命講習 I	西消防署
	5月19日(日) 13時～16時	普通救命講習 I	中消防署
	6月9日(日) 9時～12時	普通救命講習 I	東消防署
	7月13日(土) 13時～16時	普通救命講習 I	西消防署
	8月18日(日) 10時～11時30分	救命入門コース(90分間)※1	中消防署
	9月8日(日) 9時～12時	普通救命講習 I	東消防署
	10月26日(土) 9時～17時	上級救命講習(8時間)※2	消防局(警防部警備課)
	11月17日(日) 13時～16時	普通救命講習 I	西消防署
平成32年	12月8日(日) 13時～16時	普通救命講習 I	中消防署
	1月25日(土) 9時～12時	普通救命講習 I	東消防署
	2月16日(日) 13時～16時	普通救命講習 I	西消防署
	3月14日(土) 13時～16時	普通救命講習 I	中消防署

※表の日程以外でも、10人以上の参加が可能な場合は、相談に応じて随時講習会を開催します。

救命講習会～いざというときのために

- 市内在住・在勤・在学(いずれか)の方
- 各30人程度(申込先着順)
- 応急手当の必要性 ▶人工呼吸と胸骨圧迫の方法(心肺蘇生法)、AED(自動体外式除細動器)の使用法 ▶大ケガのとき、命に関わる大出血のときに大切な「止血法」など
- ※1 救命入門コース(90分間)は10歳以上の方が対象(小学生は保護者同伴)。
- ※2 上級救命講習(8時間)は一定の頻度で応急処置などの対応をすることが想定される方が対象。
- 各開催日の1か月前～1週間前の9時～17時30分に電話で(土・日曜日、祝休日、年末年始(12月29日～1月3日)を除く)
- 普通救命講習・救命入門コース=東・中・西消防署 ▶上級救命講習=警備課

消防局連絡先一覧	
東大阪市消防局(稲葉1-1-9)	消防072(966)9669
総務部総務課	072(966)9660
総務部人事教養課	072(966)9661
警防部予防広報課	072(966)9662～9663
警防部警備課	072(966)9664
警防部通信指令室	072(966)9665、消防072(966)8884
防災学習センター	072(966)9998、消防072(966)9990
東消防署(鳥居町3-3)	072(983)0119、消防072(985)6503
中消防署(稲葉1-1-9)	072(966)0119、消防072(966)6465
西消防署(御厨栄町3-1-41)	06(6788)0119、消防06(6788)1374



●記号の見方 ①とき ②ところ ③対象 ④定員・定数 ⑤内容
⑥申込み方法・申込み先 ⑦問合せ先

もしものときの問合せ先

- 大阪の医療機関を探したい!
自分で病院に行きたいけれど、今この医療機関が開いているかわからないときは大阪府救急医療情報センターへ(06-6693-1199・24時間365日)
- 子どもの症状で迷ったときは
夜間に子どもの急病などで病院へ行った方がよいかどうか、判断に迷ったときは小児救急電話相談へ(#8000または06-6765-3650・20時～翌日8時)
また、「小児救急支援アプリ(大阪府版)」(写真)もご利用ください。緊急性の判断や近くの医療機関(大阪府内)を地図上に表示してくれます。アプリは24時間利用可能です。AppStoreまたはGoogleplayからダウンロードできます。「小児救急支援」で検索してください。
警備課

